

青葉区しらとり台公道充電ステーションの利用状況等を報告 ～「EV充電器の公道設置に関する実証実験」の協議会を開催しました～

横浜市と株式会社 e-Mobility Power^{※1}は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けた取組の一つとして、「横浜市内のEV普及促進に向けた連携協定」を締結し、市内で電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）（以下総称して「EV」という。）に乗りやすい環境整備や、充電インフラ^{※2}拡大に資する新たな仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

その取組の一環として、横浜市青葉区内において、**全国で初めて公道上^{※3}にEV用充電器を設置**し、公道に充電器を設置する際の課題や有用性について検証する実証実験を令和3年6月8日から実施しています。

このたび、令和3年9月30日に本実証実験の協議会^{※4}を開催し、**青葉区しらとり台公道充電ステーションの利用状況等の中間報告**を行いました。

令和4年3月末（予定）まで実証実験を実施しながら、青葉区しらとり台公道充電ステーションの継続など今後の取組について、協議会の中で議論してまいります。

※1 充電インフラの整備、充電ネットワーク拡充ならびにサービス提供を行うために設立された電力会社、自動車会社等7社による共同出資会社（出資者：東京電力ホールディングス(株)、中部電力(株)、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、本田技研工業(株)、三菱自動車工業(株)、(株)日本政策投資銀行）

※2 一般開放されている充電器

※3 公道扱いである駐車帯（道の駅、サービスエリア、パーキングエリア）は除く

※4 横浜市・(株)e-Mobility Power・有識者によって構成される実証実験実施のための協議会

1 利用回数

200回超/月の利用状況であり、**充電ステーションとして定着**

・6月(6/8～7/7) 228回	} → 平均 7.8回/日 (平日：7.2回 休日：9.1回)
・7月(7/8～8/7) 229回	
・8月(8/8～9/7) 243回	

2 利用者アンケート結果（76件）

公道上に充電器を設置する取組に対して、利用者の**9割以上が支持**

・公道上への充電器設置は、店舗等の駐車スペースが少ない都市部の充電スポット不足を将来的に解消する目的で、社会実験を実施しています。都市部の充電スポットを増やすために、公道上に充電器を設置する取組について、どう考えますか。

支持する 94.7% 反対する 5.3%

・今後も公道充電器を使用しますか。

積極的に利用したい 64.5% たまに利用したい 26.3% 分からない 5.3%

3 地域の声

- ・安全性：地域からの危険性や不安に関する意見なし
- ・利便性：近隣のEVを所有する住民の利便性が向上
- ・将来性：地域でのEVの普及やまちの発展に寄与する取組として継続要望あり

4 有識者コメント（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 田中 伸治教授）

活発に利用され、地域の声やアンケート結果は好意的なものが多く、無事に運用できている。この実証の機会をうまく活用し、より利便性が向上する取組も考えていけたら良い。

5 実証実験の概要

【実証期間】 令和3年6月8日（火）17時～令和4年3月下旬（予定）
【実証場所】 横浜市青葉区しらとり台69付近（神奈川県道140号川崎町田線沿い）
【実施主体】 EV充電器の公道設置に関する実証実験協議会

【設置充電器】 機器概要 CHAdeMO規格 急速充電器 1基^{※5} 2台同時充電可能
1台利用時最大出力 90kW^{※6}
2台利用時最大出力 56kW

※5 9月9日（木）より再生可能エネルギーによる充電を開始しました。

※6 これまで1台利用時の最大出力は56kWでしたが、令和3年10月1日（金）から90kWになりました。

利用時間 24h

利用料金 充電カードにより異なります。

e-Mobility Power ネットワーク充電器 ビジター利用可



■ 位置図



■ 概要図



神奈川県道140号線 川崎町田線
電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)の充電中に限り、枠内に駐車可能です。

■ 現地写真



お問合せ先

(実証実験について) 温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636

(充電器について) 株式会社 e-Mobility Power 企画部 Tel 03-6275-1745